

# 要求仕様書

## 全体概要

### システムの概要

室内の温度が 28 度を超えたとき、ユーザに冷房をつけるかどうかを確認する通知を送り、室内の温度が 31 度を超えたら、冷房を強制的に起動して、ユーザのスマホに冷房をつけたことを通知する。

### 製品の機能

5 分ごとに Remo 3 のセンサを使い室内の温度を取得して Google スプレッドシートに記録する。室内に人がいることを感知して、取得した温度が 28 度を超えたとき、ユーザに対して LINE を通じて冷房をつけるかどうか通知して、ユーザが「はい」と返答したら冷房をつける。また、LINE を使いユーザが冷房の温度を調整できる。取得した温度が 31 度を超えたとき、冷房を強制的に起動する。さらに、冷房を強制的に起動したとき、ユーザのスマホに冷房をつけたことを LINE で知らせる。

### 想定する利用者の特性

冷房が設置された部屋を利用する人全てが対象である。特に、室温が高いにも関わらず冷房を使用しない人や、無意識のうちの熱中症を防ごうと考える人に有用なシステムである。例えば、高齢者のみの世帯において、室温が高いにも関わらず高齢者が暑さを感じず、知らぬ間に熱中症になるといった事態を防ぐことができる。また、子供が親の監視下にないときにも有用である。

## 詳細

### 機能要求

- ・スプレッドシートに記録される室温と人感センサの反応をもとに、ユーザは LINE にて通知を受け取ることができること
- ・ユーザは室温が 28 度以上 31 度以下のときに冷房をつけるかどうかの通知を受け取り、LINE のトーク画面にて冷房をつけられること
- ・ユーザは LINE のリッチメニューから温度を設定でき、LINE 上で設定温度を変更した場合にメッセージにて通知を受け取ることができること